

共によみがえらされた

(コロサイ2・11～14)

一、コロサイ書をめぐって

新約聖書の書簡を読む際、書によっては、かなり特殊な状況の中で書かれていますので、読み取ることがむずかしいです。たとえば、「ローマ人への手紙」はむずかしいですが、比較的「わかりやすい」と言えます。なぜなら、これを執筆したパウロは——筆記したのはテルティオという奴隷の身分で信者になった方ですが——、ローマに行ったことがなかったですし、ローマの信徒のことを良く知りませんでした。ですが、ローマにあった教会、すなわちイエス・キリストを信じる群々にどのような問題が起きているかを聞いていましたので、そのことを意識して語っています。あまりこじれてた問題は扱っていないので、理解しやすいです。ですが、「コロサイ人への手紙」となると、当時その地域にあった特殊な考え方のゆえに、イエス・キリストを信じているとは言っても、使徒たちによって受け継がれてきた福音と異なる異端の教えが教会に浸透していました。そういう特殊な状況に置かれた教会が、本来の信仰に立ち返るようとして書かれていますので、読み取ることがむずかしいわけ

です。ですが、与えられたテキストから読んで分かる言葉を聴き取ってまいりたいと思います。

二、信仰の土台

私たちの信仰の土台は、イエス・キリストです。言葉を長くするなら、イエス・キリストの十字架と復活によって現された福音を信じることです。これを基本にして思考を深め、現実の生活において閃きが生まれるなら、すばらしいことです。ですが、使徒たちが伝えたいメッセージから逸れるなら、どんなに魅力的な教えに思っても、信仰の土台になりません。使徒たちが伝えたメッセージは動かすことのできないものでありまして、イエス・キリストが十字架にかかってから3年後に救われ、使徒とされたパウロですら、それを変えることはしませんでした。当然です。もし変えたら、パウロ教になってしまいます。何回も引用しますが、コリント人への手紙第一15章1節、3節、4節を見てまいります。(「1コリント15・1、3、4」)

パウロは福音の大切さを語り、その福音は「私も受けたことであって」と語っています。だからでしょうか。使徒たちからです。では、私たちは、キリストの福音をどうやって知るのでしようか。聖書からです。聖書はどうかやって読むのでしょうか。その際、使徒信条やニカイア信条が出てこないか、かな

り自由な読み方になり、本来の福音から逸れて行ってしまう危険性があります。イエス・キリストを信じる信仰の現れはバラエティに富んだものであると思いますが、土台はしっかり押さえておく必要があります。その土台は、ひと言で言うなら十字架と復活の福音です。

三、共によみがえらされた

きょう開かれた聖書箇所を見てまいります。11節を飛ばして、12節を見てまいります。(「コロサイ2・12 a」)

バプテスマにおいて、あなたがたはキリストとともに葬られ、また、キリストとともによみがえらされたのです。」とあります。バプテスマとは、イエス・キリストを信じた者が受ける洗礼のことです。読んだだけで、あるいは聞いただけで分かることばかと思えます。この聖句は、バプテスマの儀式は信じる者がイエス・キリストの十字架と復活に結び合わされることを言い表しています。キリストは私たちの罪を負って十字架で死んでくださいました。バプテスマを受ける私たちも、それを受けた時に、生まれたままの古い人、罪に支配されていた人がキリストと共に死に、葬られます。そして、キリストが死者の中からよみがえらされたように、私たちも水から上がった時に、キリストと共に新しいのちによみがえらされます。

ところで、ここに書かれているコロ

サイ人への手紙の言葉は、「ローマ人への手紙6章に書かれている言葉に似ています。が、少し異なります。というか、コロサイ書の方が進展しているように思われます。ローマ人への手紙6章には、次のように書かれています。(「ローマ6・5」)

「私たちがキリストの死と同じようになつて、キリストと一つになつてい

るなら、キリストの復活とも同じようになるからです。」と。この聖句と(「コロサイ2・12 a」)

バプテスマにおいて、あなたがたはキリストとともに葬られ、また、キリストとともによみがえらされたのです。」では、どのように異なるのでしょうか。ちなみに、「復活」と「よみがえり」は日本語の違いでありまして、元の言葉は同じです。ローマ書の(「キリストの復活とも同じようになる」と、コロサイ書の(「キリストとともによみがえらされた」)では、どこが異なるのでしょうか。答は、ローマ書が「キリストの復活とも同じようになる」と、未来形で語っているのに対して、コロサイ書は「キリストとともによみがえらされた」と過去形で書かれています。新しいからだによみがえらされる出来事は、まだ起きていません。が、イエス・キリストを信じる者は、内面においてよみがえられました。イエス・キリストを信じている人は、毎日復活のいのちに生かされています。キリストとともによみがえらされたからです。